

200個人メドレー日本人初

萩野銀



男子200メートル個人メドレー決勝 タイムを確認する金メダルのライアン・ロクテ(右)と銀メダルの萩野公介(バルセロナ)

【バルセロナ共同】競泳日本の若きエース、萩野公介(18)は作新高一・東洋大1年Ⅱが1日、バルセロナで行われた世界選手権の男子200メートル個人メドレーで1分56秒29の2位となり、400メートル自由形に続く今大会二つ目の銀メダルを獲得した。

4月の日本選手権で史上初の5種目制覇を果たした萩野は、初出場の世界選手権で異例の個人6種目にエントリーしている。2日(日本時間3日未明)は200メートル背泳ぎの決勝があり、三つ目のメダルに挑む。

◇

どこにそんな力が残っていたのか。今大会12本目のレースとなった男子200メートル個人メドレー決勝。150

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号

〒320-8686

下野新聞社

電話 028-625-1111

郵便振替口座 00180-1-623433

©下野新聞社2013

読者室 028-625-1179

(受付 月～金・午前10時～午後6時)

編集局 028-625-1121

販売 028-625-1120 (販売)

事業局 028-625-1134 (事業・教育)

営業局 028-625-1133 (広告)

PC・スマホ・携帯でも

下野新聞 検索

下野新聞購読お申し込みは

ダイヤル 0120-810081

電子号外

世界水泳

メートルを3位で通過した萩野は最後の自由形で一気に追い上げ、ゴール手前で隣のペレイラ(ブラジル)をかわした。0秒01差で手にした二つ目の銀メダルに、勢いが止ま

らない日本の若きエースは「競り勝てて良かった」と胸を張った。

終盤の粘りは多種目挑戦のたまものだ。大会前半に速いスピードを保って泳ぎ続け



万歳三唱で喜びを分かち合う市民ら＝2日午前1時20分、小山市羽川西小

逆転劇「感動」

170人が大歓声

母校の小山・羽川西小

萩野公介選手(18)が同種目で日本人初となるメダルを獲得した瞬間、小山市の地元「応援団」の盛り上がりは最高潮に達した。

400メートル自由形に続き、ゴール目前での逆転劇。2日未明、母校・羽川西小体育館で行われた大画面のパブリックビューイングには、深夜にもかかわらず市民ら約170人が駆けつけ、喜びを爆発させた。

萩野選手が5、6年生の時の担任だった菅沼克博さん(52)は「わくわくした。見事な泳ぎに感動しました」と声を弾ませた。

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

携帯、スマホで栃木のニュースを!!

下野新聞
SOON
月額262円

下野新聞 検索